

# 第39回北海道スポーツ少年団剣道交流大会

## 開催要項

### 1. 趣旨

団員にスポーツの喜びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を与え、剣道を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する。

2. 期日 令和6年11月30日(土)～12月1日(日)

3. 会場 砂川市総合体育館

〒073-0127 砂川市日の出1条南9丁目2-2 / TEL: 0125-54-2175

4. 主催 公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団  
公益財団法人北海道スポーツ協会北海道スポーツ少年団  
一般財団法人北海道剣道連盟

5. 主管 第39回北海道スポーツ少年団剣道交流大会実行委員会

6. 協賛 株式会社セコマ

7. 後援 北海道

### 8. 参加資格

次の条件を満たす者で、各管内スポーツ少年団協議会会長・札幌市スポーツ少年団本部長が推薦する者。

#### (1) 指導者(監督)

(ア) 令和6年度スポーツ少年団に指導者として登録をしている者。

(イ) 「スポーツ少年団の理念」を学習した者。

(ウ) 集団指導の能力に優れている者。

#### (2) 団員

(ア) 令和6年度にスポーツ少年団登録をしている小学校4年生以上中学校3年生以下の団員。

(イ) 集団生活に際し、規則正しい行動のとれる者。

(ウ) 大会日程に耐えられる強健な心身の持ち主で、医師の健康診断で大会参加に支障がないと認められ、かつ傷害保険に加入済みの者。

(エ) 保護者の大会参加の承諾を得た上、通学学校長に大会参加の届出を行った者。

### 9. 参加者及びチーム編成

(1) 参加者は、団体戦出場チームと個人戦出場者とする。

(2) 指導者は1名とし、競技中は監督となる。

(3) 団体戦出場チームは、指導者1名、団員5名(小学校4・5・6年生)の計6名編成とし、単位団チーム又は市町村単位で選抜したチームであること。

(4) チーム編成は次のとおりとする。

区分	1	2	3	4	5	指導者(監督)
	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	
学年	4年生	5・6年生	5・6年生	5・6年生	5・6年生	有資格者
性別	問わない	女子	男子	女子	男子	問わない

※上表の学年は当該年度の4月1日現在のものとする。該当者のいない場合は、下位学年の者が上位学年区分に出場しても良いが小学校4年生以上とする。但し、男女の変更は認めない。

(5) 個人戦出場者は、中学校に在籍中の男女団員各2名、計4名とする。

(6) 大会参加者全員は大会組織に入り、大会日程を確認の上、参加すること。遅刻、早退、自由行動は認めない。

(7) 大会期間中における指導者の交代については、特別な事情があり、かつ、主催者が認めた場合に限り可能とする。(7. 参加資格(1)の条件を満たすことが前提)。

10. 参加チーム数とその選出

- (1) 参加チーム数：30 チーム（1 チーム 6 名）計 180 名
- (2) 参加チーム数は、14 振興局管内及び札幌市の代表の各 2 チームの計 30 チームとする。  
但し、同一市町村及び同一単位団より 2 チームの参加は認めない。また、札幌市については、同一単位団が 2 チームに重複して参加することを認めない。
- (3) 個人戦出場者は 14 振興局管内及び札幌市の代表の男子 2 名、女子 2 名のそれぞれ 30 名以内とする。
- (4) 個人戦のみ参加の場合でも必ず指導者 1 名をつけること。

11. 大会日程（予定）

〈大会 1 日目〉 11 月 30 日（土）

12：30～13：00	受付開始
13：00～13：30	開会式準備
13：30～13：45	開会式
13：45～14：00	日本剣道形
14：00～16：00	基本錬成会
16：00～18：00	指導者会議・交歓交流会（団員）
18：00～	解散

〈大会 2 日目〉 12 月 1 日（日）

8：00～ 9：00	集 合
9：00～10：45	個人戦（予選リーグ・決勝トーナメント）
10：45～15：00	団体戦（予選リーグ・決勝トーナメント）
15：00～15：30	閉会式
15：30～	解 散

12. 試合方法

団体戦・個人戦とも予選リーグ及び決勝トーナメント方式とする。

13. 組み合わせ抽選

大会主催者の責任抽選とする。

14. 試合・審判及び感染症対策

試合は「全日本剣道連盟剣道試合・審判規則・同細則」および全日本剣道連盟の感染症予防ガイドライン」による。

但し、別に示す「北海道スポーツ少年団剣道交流大会申し合わせ事項」はこれを適用する。

15. 参加申込み・参加料

- (1) 各管内スポーツ少年団協議会・札幌市スポーツ少年団は、参加申込書をそれぞれの協議会会長名及び本部長名をもって申し込むこと。

**※市町村本部長名（札幌市を除く）・単位団の代表者名では受け付けない。**

- (2) 参加申込者は別添様式により申込書を作成の上、本会まで送付し、**併せて参加料を指定口座へ振り込むこと。**

**※申込書の提出・参加料の納入期限：令和 6 年 11 月 1 日（金）（期日厳守）**

**※期限後の申込、参加料の納入のないものは受け付けない。**

**※団体戦 1 チーム：¥5,000 / 個人戦 1 名：¥1,000**

【申込先】〒062-8572

札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 北海道立総合体育センター内

公益財団法人北海道スポーツ協会 生涯スポーツ課

TEL：011-820-1706

【振込先】金融機関：北海道銀行 豊平支店

口座番号：普通 0307410

口座名義：公益財団法人北海道スポーツ協会

北海道スポーツ少年団 会長 <sup>アラカワ</sup> 荒川 <sup>ヒロキ</sup> 裕生

#### 16. 個人情報及び肖像権の取扱いについて

- (1) 大会参加申込みにかかわる主催者及び主管団体が取得した各種個人情報については、個人情報保護の観点から、適正に取り扱うものとする。また、取得した個人情報については、大会の参加資格審査・大会運営上必要なプログラム編成及び作成・大会時のアナウンス・大会結果掲載にかかわること（表彰・掲示板・ホームページ・大会記録集・報道関係への提供等）、その他大会運営及び大会開催に必要な連絡等のみ使用する。
- (2) 大会結果（記録）については、上記（1）で定めた個人情報とともに、主催者及び主管団体を通じた公開、大会関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載、次回以降の大会プログラムへの掲載等で公表することがある。
- (3) 大会関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真、映像が新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ、インターネットによって配信されることがある。
- (4) 大会参加申込みとして申込書を提出した時点で、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。また、各種大会運営関係者（役員・委員・補助員・関係機関・大会に関する契約をしている者等）については、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

#### 17. 表彰

- (1) 優勝チームには賞状、優勝杯（持ち回り）、賞品を授与する。
- (2) 2位（1チーム）、3位（2チーム）には賞状、賞品を授与する。
- (3) 個人戦の表彰は団体戦に準じる。
- (4) 参加者全員に参加賞を授与する。

#### 18. 全国大会への派遣

本大会団体戦優勝チーム並びに個人戦優勝者（男女各1名）を、令和7年3月28日（金）～30日（日）に大分県にて行われる「第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会」へ北海道代表として派遣する。

#### 19. 団体携行品

- (1) 団体携行品 ・紅白目印（各チームで持参）
- (2) 個人携行品 ・剣道用具一式  
・健康保険証等のコピー  
・指導者証、団員章

#### 20. 大会期間中の傷害・主催者賠償責任保険補償内容について

- 死亡・後遺傷害…600万円（後遺傷害は事故から180日以内）
- 入院日額 …日額 5,000円（補償限度180日以内）
- 通院日額 …日額 3,000円（補償限度180日以内の通院なので90日）
- 手術 …種類に応じて、入院日額の5倍・10倍

(180日以内、1事故)

□主催者賠償責任保険…対人・対物事故共通 支払限度額1億円

※上記の各補償内容の適用については、本会と保険会社との契約内容に基づき、対象となる事案が発生した場合に適用されます。

21. その他

- (1) 大会1日目に行われる交歓交流会には、団員全員が必ず参加すること。  
明らかに参加していないことが判明した場合には、翌日の試合への出場を認めない。  
なお、動きやすい服装に着替えても構わない。
- (2) 本大会参加者以外の同行団員の交歓交流会・基本錬成への参加は認めない。
- (3) 宿泊・食事については、各自で手配してください。
- (4) アリーナ内は土足厳禁となっているため、靴袋・上履きをご持参下さい。
- (5) アリーナ内及び更衣室での飲食は禁止です。

「この大会は公益財団法人スポーツ安全協会の助成を受けて開催するものです」

令和6年9月1日

## 感染症予防ガイドライン

公益財団法人全日本剣道連盟

### はじめに

剣道は発声による飛沫によって、感染症に罹患しやすいと言われていました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、また、感染者の重症化も少なくなりましたが、感染者数は最近、再び増加しているとのことです。また剣道においては、コロナウイルスだけでなく、インフルエンザやその他の感染症の発生や感染の拡大も懸念されます。

このため、公益財団法人全日本剣道連盟（以下「全剣連」）では、感染症予防のために『感染症予防ガイドライン（以下、全剣連ガイドライン）』を策定いたします。これに伴い、新型コロナウイルス感染関連の「稽古に関する感染予防ガイドライン」、「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」、「審査会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」を廃止します。今後は、この『全剣連ガイドライン』に沿って稽古、大会、審査会等（以下、行事）を行われるようお願いいたします。

### ガイドライン

#### 1. 行事の参加について

- ・以下に該当する者は行事への参加を控えること。
  - ① 体調がよくない場合、体調が普段と異なる場合（症状がなくても感染している場合があるため）
  - ② 発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合
  - ③ 同居家族や身近な知人に感染症が疑われる者がいる場合も慎重に判断すること
- ・基礎疾患がある者はあらかじめ主治医の了解を得ること。

（留意事項）高齢者が感染した場合、重症化しやすく、死亡率も高いため、65歳以上の場合は稽古等の行事への参加について慎重な判断を行うこと。

#### 2. 行事の前の感染対策

- ① 手洗い、アルコール等による手指の除菌を行う。
- ② 更衣室を使用する場合は密集を避け、換気を行う。
- ③ 床の湿式清掃もしくはモップ掛けを行う。その他にも共用のものについても、除菌を行う。

日常生活においても、手洗い、消毒、換気などの対策を心掛け、発熱や咳、倦怠感等の症状を認めた場合には、速やかに医療機関を受診することを勧めます。

### 3. 剣道の実施にあたって

- ① 面をつけて剣道を行う際には、飛沫の飛散防止等のため、口の部分を覆うシールドもしくは、面マスクを着用する。
- ② 大会の審判員のマスクやシールドの着用は不要とする。
- ③ 審査会において審査実施時は、審査員・立会者・係員はマスクを着用する。休憩時間のマスク着脱は本人の任意とする。  
実技試験合格者の日本剣道形の審査においては、マスクの着脱は任意とする。
- ④ 居合道・杖道においては、マスクの着脱は任意とする。
- ⑤ 稽古場所・会場等においては、できるだけ工業用扇風機を用いて通風・換気を行う。

### 4. 行事の後の感染対策

- ① 更衣室を使用する場合は密集を避け、換気を行う（複数名で外で飲食する場合も同様）。
- ② 面マスク、使用済みのシールドの洗浄、除菌を行う。剣道着・袴・手拭いも都度、洗濯や除菌を行うことが望ましい。
- ③ 剣道具（特に面、小手）の除菌を行う。
- ④ 洗顔、手洗い、うがい、アルコール等による手指の除菌を行う。

### おわりに

居合道、杖道においても、同様とします。

また、各組織・団体にあっては、会員構成（年齢や性別）、稽古及び場所、地域の気候等の特性に応じて、本ガイドラインを参考にしてください。

（通風・換気についての補足説明）

通風・換気の程度はCO<sub>2</sub>モニターでCO<sub>2</sub>濃度をチェックすることにより判定可能；おおよそ1,000 ppm以下に保つことが望ましい。

# 北海道スポーツ少年団剣道交流大会

## 申し合わせ事項

### 1. 大会特別試合規則

(1) 試合の種別及び方法、時間は次のとおりとする。

#### ①団体試合の場合

(ア) 試合は予選リーグと決勝トーナメントとする。

(イ) 勝敗の決定は予選リーグ、決勝トーナメントともに勝者数法とする。

(ウ) 予選リーグは、1ブロック3または4チームとし、勝ちチームは1点、引き分けは0.5点、負けは0点として、合計点、勝者数、総本数によって順位を決定する。

(エ) 決勝トーナメントは予選リーグ各ブロックの1位8チームをもって行い、優勝、準優勝、3位(2チーム)を決定する。なお、決勝戦の前に3位同士による全国大会出場優先順位決定戦を行う(表彰は2チームとも3位とする)。

(オ) 試合は原則として3分3本勝負とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。但し、準決勝以上の試合で時間内に勝敗が決しない場合は、2分の延長戦を1回行い、勝敗が決しない場合は引き分けとするが、チームの勝敗が決定した場合は延長戦を行わない。

(カ) 予選リーグにおいては引き分けの場合でもその都度勝敗を決定せず、そのリーグ戦終了後のブロック1位チームの決定の際の勝ち点、勝者数、総本数ともに同数の場合、及び決勝トーナメントにおける勝者数、総本数ともに同数の場合は代表者戦を行う。なお、リーグ戦において既に1位チームが決定している場合は引き分けとする。

代表者戦は3分1本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は、2分区切りの延長戦を勝敗が決するまで行う。なお、代表者戦の出場者は、中堅・副将・大将とし、抽選により出場選手を決める(中堅・副将・大将で欠員がある場合には、欠員ポジションを除いて抽選を行う)。

#### ②個人試合の場合

(ア) 試合は男女別に行い、3分3本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は、2分区切りの延長戦を勝敗が決するまで行う。なお、リーグ戦において既に1位が決定している場合は引き分けとする。

(イ) 予選リーグで勝ち点、勝ち数、総本数ともに同数の場合には、3人以上であれば3本勝負を行い、2人の時は1本勝負で決戦を行う。

(2) 構えは中段の構えのみとする。

(3) 突き技及び片手技は有効としない。

### 2. 用具などについて

(1) 竹刀の点検は十分にしておくこと。中結の位置は剣先から全長の1/4とする。

(2) ポリカーボネード面の使用は認めることとする。

(3) 剣道具の着装はしっかりすること。即ち、面紐の長さは結び目から40cm以内に切っておき、結び目の位置は物見の高さとする。

小手紐は長く垂れないようにきちんと結び、胴紐(腰紐)の結び方は花(蝶)結びとすること。

(4) サポーター等の使用届は行わない。サポーター等は、医療上必要と認める場合に限りその使用を認める。

但し、見苦しく、且つ相手に危害を加えると審判員が判断した場合、その使用を禁止することもある（足首のサポーターの底にゴムや革を貼ったものは禁止）。

(5) 鍔は所定の位置に固定すること。

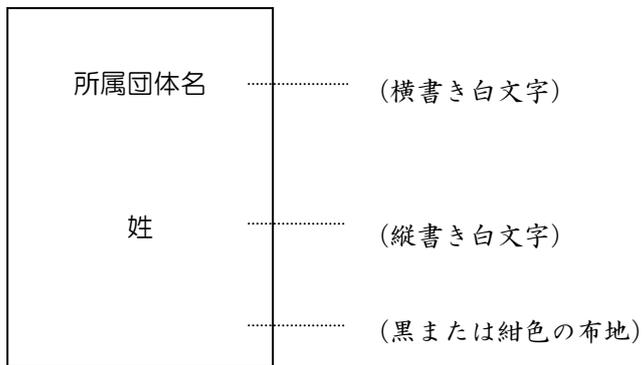
(6) 名札は、全日本剣道連盟剣道試合審判細則（下図参照）に準じたものを着けることとし、所属団体名に加えて地域名や道場名などを記したものは認めない。

（下図 全日本剣道連盟剣道試合審判細則第5条、および第4図）

## 第5条

試合者の名札は、第4図のとおりとし、中央の垂れに着ける。

第4図 試合者の名札



# 北海道スポーツ少年団剣道交流大会

## 参加にあたって

### 1. 集合日時について

団体戦参加者は指導者が引率の上、11月30日(土)13時までに会場に集合し、受付を済ませてください。(受付開始12:30~)

### 2. 携行品について

- (1) 団体携行品
  - ・スポーツ少年団旗(市町村旗または単位団旗)
  - ・紅白目印(各チームで持参)
- (2) 個人携行品
  - ・剣道用具一式
  - ・健康保険証(コピー可)
  - ・指導者証、団員章

### 3. 駐車場の利用について

バスでの来場をされる団体は、野球場横の駐車場に駐車してください。

### 4. 交歓交流会・基本錬成(11/30)について

- ・初日に行われる交歓交流会には、参加者全員が参加となります。
- ・明らかに参加していないことが判明した場合は、翌日の試合には出場できません。
- ・本大会参加者以外の同行団員の交歓交流会・基本錬成への参加は認めません。

### 5. 宿泊について

宿泊については各自で手配してください。

### 6. その他

別紙「申し合わせ事項」「大会に関する規程」を熟読のうえ参加してください。  
アリーナ内は土足厳禁となります。靴袋・上履きをご持参ください。  
アリーナ内及び更衣室は飲食禁止です。

### 《問合わせ先》

公益財団法人北海道スポーツ協会 生涯スポーツ課  
〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 北海道立総合体育センター内  
TEL: 011-820-1706  
E-mail: shogai@hokkaido-sports.or.jp